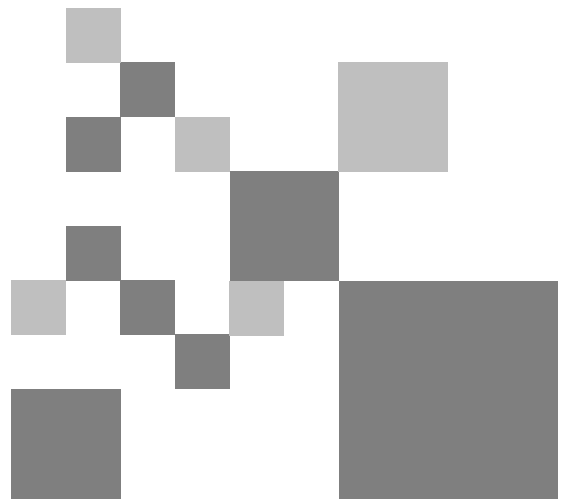




# 第3章

## 計画の基本的な考え方

---



## 1. 将来像

観光はもとより、中国の古典「易経」の『国の光を観るは、もつて王たるの賓によろし観国之光、利用賓于王』を語源としており、「国家の治、光華盛美（国の光）を学び、観るときは、その国において王の賓客として仕え、智力をつくし、王を助け、恵みを天下に施すようにすべき」と訳すことができます。すなわち、国の繁栄や輝きを観ることであり、観光は“まちの光り”を観ることを意味します。また、「観る」には「示す」ことも意味として含まれており、“そのまちの良きところ、すばらしい人物に触れ合うこと”にもつながります。

本町が有する光として、かねてから生活の糧として地域経済を支えてきた茶業や林業、山々や溪谷が織りなす雄大な自然景観、良質な泉質を誇る各所の温泉、汽笛を響き渡らせ走るSL、脈々と受け継がれてきた伝統芸能や生活文化、そして、まちの担い手である住民などが挙げられ、これら優良な観光資源と地域住民を活かした観光のまちづくりを図っていきます。ついでに、本町の観光の方向性を描く計画として、目指すべき姿を以下に掲げます。

### 雄大な自然が癒す ふるさとのまち 川根本町 ～新緑・紅葉・大井川、お茶と温泉・SLのまち～

中国の古典「えききょう易経」：中国の重要古典の名数的呼称「四書五経」の五経の一経に位置づけられる。五経には、「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」がある。

## 2. 目標値

本計画では、総合計画で掲げる数値目標を加味しつつ、本町が有する観光産業の活性化や振興施策により、計画の最終年度である平成34年度における目標値を以下のとおり定めます。

	現状値 (平成23年度)	中間目標〔総合計画参照〕 (平成28年度)	最終目標 (平成34年度)
観光客数	39.4万人/年	50.0万人/年	57.5万人/年
一日当りの観光客数(参考)	1,080人/日	1,370人/日	1,575人/日
宿泊客数	3.4万人/年	5.7万人/年	6.6万人/年

※観光客数は統計要覧「年度別町内観光施設等利用客・宿泊客の推移」を参照

宿泊客数は「入湯税申告」の統計を参照

中間目標は総合計画との整合より平成28年度で設定

最終目標は、平成16年～19年の数値を参考に設定

交流人口は、一日あたりの観光客数として設定

### 3. 基本方針

本町の観光振興において、地域の魅力を高め、県内はもちろんのこと県外からの観光客数の増加やリピーターの確保、滞在時間・期間の延伸を図ることは、名実ともに「観光交流立町」を目指す上で大変重要なことです。観光の将来像を実現するため本計画の基本方針を以下に示します。

川根本町の魅力を高める観光ブランド力の強化

魅せるまち・川根本町

おもてなす人と心を育む

喜ばれるまち・川根本町

魅力を伝え、広めるための戦略的なプロモーション

発信するまち・川根本町

観光資源や受入れ基盤の整備

満足度が高いまち・川根本町



#### 4. 施策体系図

